

式 辞

本日ここに桐生市立商業高等学校開校記念式典を挙行するにあたり、ご多用の中ご臨席賜りました同窓会長・前原 毅様、本日、記念講演をさせていただきます株式会社シカク副社長・蘭田佳介様、PTA 会長・蓮本泰則様をはじめとするご来賓の皆様、心より感謝申し上げます。

さて、本校は、地域における女子教育の必要性に応えるべく、昭和十五年に二年制の「桐生市実践女子青年学校」として創立されました。

その後、幾度かの校名変更を経て、昭和二十三年には普通科・家庭科・商業科の三科を擁する「桐生市立高等学校」となります。

当時の桐生市は、織物業を中心とする産

業都市として発展しており、工業系の教育機関は充実していたものの、それを支える商業系の教育機関は乏しい状況にありました。

そうした市民の強い期待を受けて、昭和二十六年に共学制の「桐生市立商業高等学校」が併設され、昭和二十八年には現在の清瀬町に校舎を移転。

その後、普通科・家庭科の生徒数の減少に伴い「桐生市立高等学校」は自然廃校となり、「桐生市立商業高等学校」として独立するに至りました。

そして本校は、本年で創立八十五周年という大きな節目を迎えることとなりました。

これまでの長い年月の中で、多くの若者たちがこの学び舎で仲間と出会い、夢を語り合い、心と体を鍛えながら、人生におけるかけがえない時間を過ごしてきました。卒業生は、地元の産業界はもちろん、県内外のさまざまな分野で活躍しています。

今日のこの記念式典が、生徒の皆さんにとって、本校の歴史や歩みを知り、その積み重ねてきた伝統の重みを感じる機会となることを、心から願っています。

昨年度の資格取得においては、日本商工会議所主催の簿記検定において二級合格者が十六名、さらに基本情報技術者試験では三名が合格するなど、顕著な成果を収めました。

また、全国商業高等学校協会主催の各種検定においても、七種目で一級を取得した生徒をはじめ、多くの合格者を輩出しております。

一方、部活動においては、全国大会に、陸上競技部、弓道部、男子バドミントン部、女子バスケットボール部、コンピュータ部が出場。

関東大会には、陸上競技部、男女バドミ

ントン部、女子バスケットボール部、男子バレーボール部が出場し、「桐商ここにあり」と、その存在感を大いに示してくれました。

その他の部活動についても、ここで紹介しきれないのが残念ですが、全国・関東大会を目指して日々努力を重ねています。これらの一つひとつが、本校に新たな伝統のページを加えてくれています。

定時制課程においても、生徒たちは午後五時半から九時近くまでの授業に真摯に取り組み、全国商業高等学校協会主催の検定において、四種目で一級合格を果たすなど、着実に成果を上げています。

また、部活動においても、全国高等学校定時制通信制体育大会のバドミントン競技に出場するなど、全日制と同様に、文武両道を実践しています。

ここで、創立八十五周年という節目にあたり、私は本校の新たな教育ビジョンを皆さまにご紹介したいと思います。

それが、

“S.P.A.R.K. for our Well-being-”
という構想です。

英語の“Spark”には、「火花を散らす」「何かを引き起こす」「刺激する」「活気を与える」などの意味があります。

一瞬の火花がやがて大きな炎となるように――生徒一人ひとりの中に眠る可能性に光を当て、その力をさらに輝かせたい。そんな願いを込めて、この言葉を選びました。

さらに、この“S.P.A.R.K.”は、単なる英単語ではありません。

S.P.A.R.K.とは、Students' Power of

Agency and Resilience at Kirisho

の頭文字 S.P.A.R.K.を取ったものであり、本校独自の教育の方向性を示しています。

つまり、「桐商の生徒が、主体性を表す “Agency” と、困難を乗り越える力 “Resilience” を発揮し、自ら考え、判断し、行動できる存在となること」。

そして、そうした力をもとに自分の学びを創り出し、やがてそれが、自分自身はもちろん、まわりの人々の Well-being（心身の健康や幸福）へとつながっていく——そんな願いが、この構想には込められています。

変化の激しい現代社会では、正解のない問いに向き合い、主体的に判断し、行動する力がますます求められています。

「言われたことを正しくこなす力」だけでは、これからの時代を生き抜くことはできません。

その源となるのが、まさに“ Agency（主体性）”であり、失敗や困難に直面しても、あきらめず立ち上がる“ Resilience（困難を乗り越える力）”なのです。

私たちは、生徒一人ひとりが「自分と社会をより良くしようと願う意志と原動力（Agency）」を発揮できるような学校を、これから本格的に築いてまいります。

その象徴こそが、“ S.P.A.R.K.” 構想です。この構想は、学力の向上だけを目指すものではありません。

自分の価値を認め、他者と協働し、よりよい社会をつくる一員として成長していく――そのような人間的な成長こそが、「桐商らしき」として、私たちが大切にしていきたい教育のかたちです。

そして忘れてはならないのが、構想の後半にある

“for our Well-being（自分とまわりの人々の幸福のために）”という言葉です。

私たちは、生徒の学力だけでなく、心の健やかさ、人間関係の豊かさ、自己肯定感、そして社会とのつながりといった、人生を豊かにする“Well-being”にも、しっかりと目を向けていきたいと考えています。

そうした力を育めるような教育活動を、これからも大切にしていきたいと思います。

これまでの八十五年の歴史と伝統を礎に、私たちは次の時代を見据えて、新たな一歩を踏み出します。

生徒一人ひとりの心に火を灯し、その火花（Spark）がやがて大きな希望の炎となつて学校全体のみならず、地域社会へと広がり、周囲の人々に勇気や希望を与え、いずれは社

会を動かすうねりとなっていく——そんな未来を、私たちは信じています。桐商生のみなさん、まずは小さなことで構いませんから自ら考え、判断し、行動してみてください。また、みなさんの考えを私に聞かせてください。校長室でお待ちしています。

“S.P.A.R.K. for our Well-being”

その第一歩を、今日というこの良き日に皆さまとともに踏み出せることを、心から誇りに思います。

本日ご列席いただいた皆さまに、改めて感謝を申し上げますとともに、今後とも本校の教育活動へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和七年四月二十五日

桐生市立商業高等学校

校長 星 野 亨